

# 平成 29 年度 農作物（水稲）モニター事業調査結果(第 4 回)

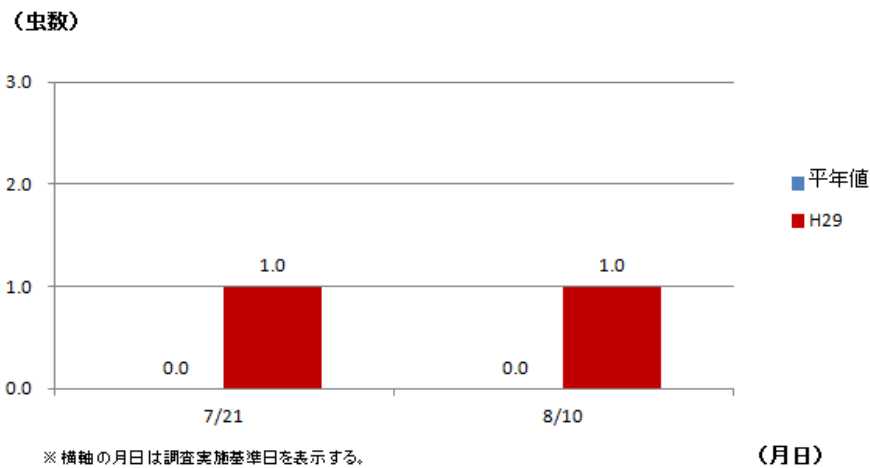
本県NOSA Iでは、水稲の生育状況を調査し、気象・病虫害発生状況などの基礎情報を継続的に観測して、県内水稲の作柄や被害発生状況の把握に務めています。

## 1. 水稲の病虫害発生調査結果

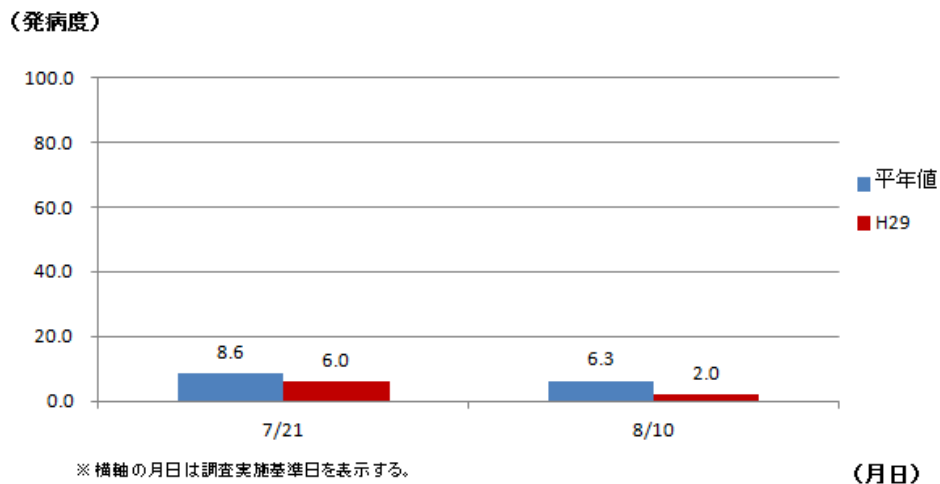
### 1) 水戸市の調査結果

調査場所	品種	移植日	調査日
水戸市	コシヒカリ	5月14日	8月10日

#### カメムシ類

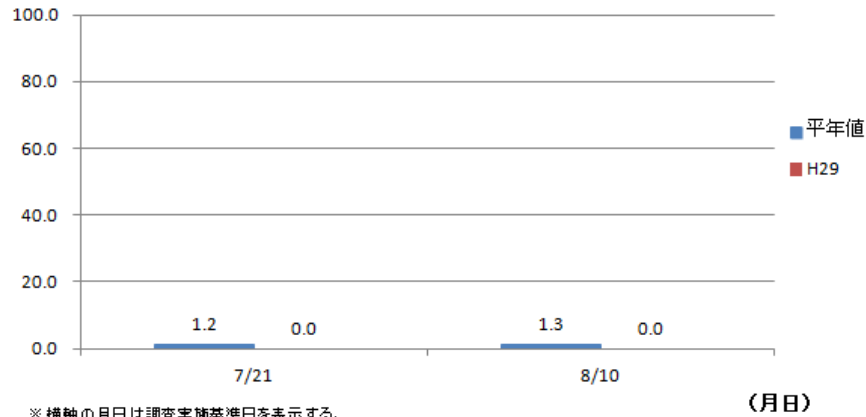


#### 葉いもち病



## 紋枯病

(発病度)



- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は平成24～28年の5年間の平均値

### ○病害虫発生調査結果について

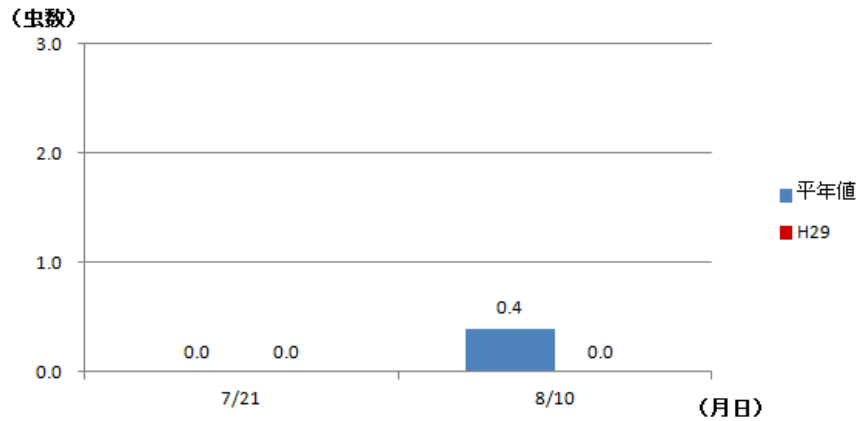
調査圃場においてカメムシ類の発生は少ないですが、平年より多くなっています。県内では発生が多い状況ですので注意して下さい。次年度以降の対策としては、カメムシ類の成虫を穂揃期に確認した場合は、防除を行ってください。また、幼虫を対象とした防除適期は、乳熟期（出穂後10～15日頃）です。斑点米の発生を防止するためには、特に幼虫防除が重要となります。

葉いもち病は、発病度が平年よりも少なくなっていますが、今後の天候により葉いもち病の発生が助長される可能性があるため、圃場をよく観察して下さい。次年度以降の対策として、出穂前に葉いもち病の発生が確認できるようでしたら、穂いもちに移行しないよう予防的に防除することをお勧めします。

## 2) 茨城町の調査結果

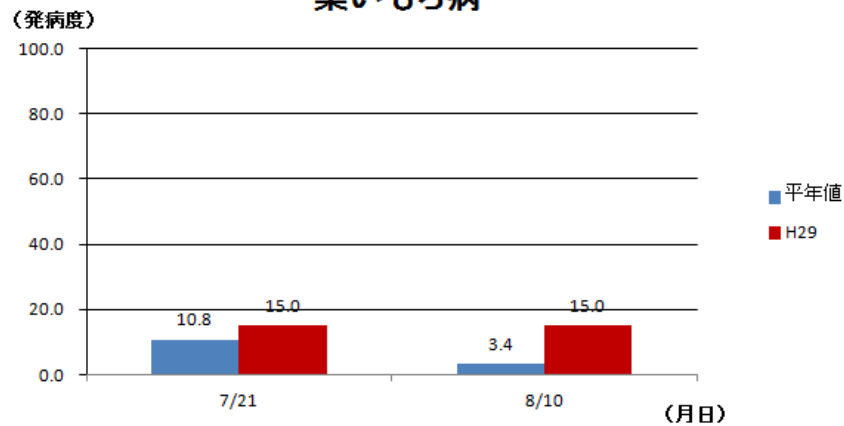
調査場所	品種	移植日	調査日
茨城町	コシヒカリ	5月14日	8月10日

### カメムシ類



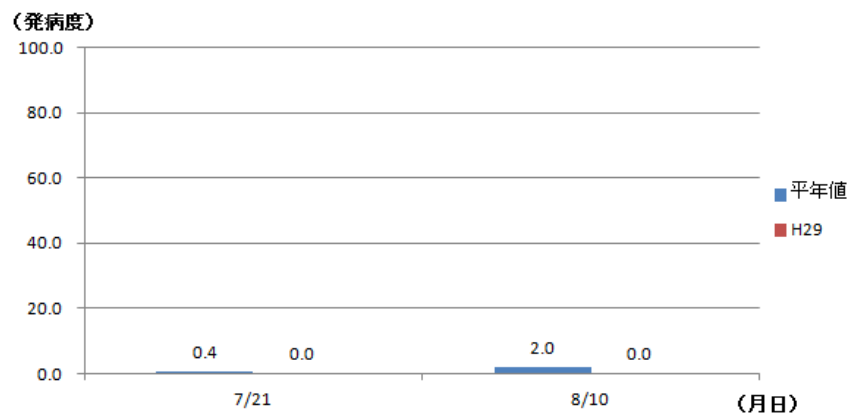
※ 横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

### 葉いもち病



※ 横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

### 紋枯病



※ 横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

○被害度は該当虫による葉の食害の度合い

○平年値は平成 24～28 年の 5 年間の平均値

### ○病害虫発生調査結果について

調査圃場においてカメムシ類の発生は見られていませんが、県内では発生が多い状況ですので注意して下さい。次年度以降の対策としては、カメムシ類の成虫を穂揃期に確認した場合は、防除を行ってください。また、幼虫を対象とした防除適期は、乳熟期（出穂後 10～15 日頃）です。斑点米の発生を防止するためには、特に幼虫防除が重要となります。

調査圃場において葉いもち病は発病度が少ないですが、平年よりも多くなっています。今後の天候により、葉いもち病の発生が助長される可能性があるため、圃場をよく観察して下さい。次年度以降の対策として、出穂前に葉いもち病の発生が確認できるようでしたら、穂いもちに移行しないよう予防的に防除することをお勧めします。

## 2. 次回調査予定日

8 月下旬～9 月下旬（成熟期調査）

茨城県農業共済組合連合会調べ  
協力：茨城県農業総合センター